

事例8-2



取組名	現役世代が参加しやすい環境整備及び交流行事の開催		
町会名	ささべ 笹部町会（鎌田地区）	町会 データ	・人口／2,383人 ・世帯数／1,025世帯 ・高齢化率／22.1% ・町会加入数／777世帯 ・常会数／10ブロック ・隣組数／59組
取組概要	○ 町会業務のマニュアル化、会議日時の固定化、年間スケジュールの早めの周知 ○ 公民館委員（若手）を中心に、交流行事「ささべバーベキュー」を企画・実施		

背景・課題

- ・ 働き方の変化や隣近所のつながりの希薄化などを背景に、町会加入率の低下や町会役員のなり手不足等が課題となっている。
- ・ 町会運営を持続可能なものとするために、現役世代を始めとした若い世代が参加しやすい環境を整えるとともに、町会運営への参画を促す取り組みが必要とされていた。

経過・取組内容

① 現役世代が参加しやすい環境整備

- ・ 「順番で回ってくるブロック長と隣組長の業務内容が見えず不安」という声があったことから、R2年度に町会業務をマニュアル化した。
- ・ 年度当初の役員会で、町会の各業務について丁寧に説明することで、これまで年6回行っていた組長会を年2回（半期に1回）に縮減した。
- ・ また、現役世代が仕事と両立しながら出席できるよう、役員会等の開催日時を金曜日の19時から固定したほか、行事の年間スケジュールを早めに周知するようにした。
- ・ 役員の行事等への参加については強制せず、欠席しても一切とがめないこととしている。

② 「ささべバーベキュー」の開催

- ・ R7年度、若い世代の参加・交流を促す機会として「ささべバーベキュー」を開催した。
- ・ 地区防災部長の声掛けにより、公民館委員（40～50代の有志8名）が主体となり、行事の企画から周知、当日の運営までを担った。

- ・ なお、実施にあたっては、町会が災害時に備えて整備してきたバーベキューセットを活用

成果・今後の展望等

- ・ 会議日時の固定化等により、ほとんどの役員が出席できるようになった。
- ・ バーベキューには、約300人が参加。防災活動を兼ねて実施したため、若い世代だけでなく、ベテラン世代も参加し、世代を越えた貴重な意見交換と交流の場となった。



バーベキューの案内チラシ

【ポイント】

- ▼ 現役世代が仕事をしながら町会活動に関われる環境整備
- ▼ 若い世代自らが企画・運営する事業を通じて、世代間交流を促進